

杉並区の教育の基本的な考え **みんなのしあわせを創る杉並の教育**

「みんなが共に教育を創る」⇒子どもも大人も全ての人が**教育の当事者**

共に尊重し大切にしたいこと

- 学び合い、信頼をつくり、共に生きる
- ちがいを認め合い、自分らしく生きる
- 誰もが社会の創り手として生きる

学び合い

教え合い

かかわり合う

学校の教育目標

やさしくなる

しあわせになる

人は、誰もが**しあわせになる**ために生まれてきます。ふこうになるために生まれてくる人はいません。小学校は、子供が会う最初の「小さな社会」としてしあわせになるための「場」でなくてはなりません。その場で子供は、よく考え行動し、たくさんの人とかかわりながら多様な考えを知り、時に反発をし、時に共感しながら、受容する「やさしさ」と発信する「やさしさ」を育て、よりよく生きていこうとしていきます。それは、ただ物欲や食欲が満足するというような短期的な「しあわせ」ではなく、「生きがい」や「人生の意義」など将来にわたる持続的な「しあわせ」を指しています。140周年の今年、保護者・地域・学校が一体となり、「誰一人取り残されることなくしあわせに生きる」ために誰もが「自分事として何ができるかを考え、実行できる」当事者意識をもつ学校組織を進化していきます。

経営目標

未来の自分に誇れる自分になる

未来の杉二小に誇れる杉二小を創る

○全教職員が
全児童の担任
『One Team
杉二』

○へこたれず
あきらめない
『One Team
杉二』

★心を育てる

地域の中で杉二小の一員としての自覚と自信と誇りをもつ

【未来を切り拓く】

- 社会に参画する意識を向上する地域のひと・もの・ことを活かした教育活動の充実
- 創立 140 周年に向け杉二小の児童として地域を知り、地域の一員としての自覚と誇りの醸成
- 「地域で児童を育てる」視点から、子どもの思いが活かされる幼保小中連携の交流活動の工夫
- 校庭整備のため、地域【野球場・東田中テニス場】へ運動の場の拡大

○今できることを
考え、実行する
『One Team
杉二』

○多様な風が
行き交う
『One Team
杉二』

やさしくなる
しあわせになる

チーム担任

☆多様さを認める

自他を大切にし 思いを伝え合い共感力を高める

【他者を推し量る】

- 他者への想像力を醸成する意図的・計画的な同学年・異学年同士や外部との交流
- 規範意識を高める「挨拶・温かい言葉遣い」の促進
- 組織的ないじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応と児童全員が楽しいと思える学校生活の確立

☆自ら考え行動する

生きて働く知恵を駆使し心身共に健康に自ら学び続ける

【自分を啓く】

- 児童主体の学習活動の展開と対面とオンライン学習の併用による、誰一人取り残さない学びの保障
- 指導の個別化、学習の個性化を進め「個に応じた指導」の充実
- 児童同士の学び合い、他者と協働した探究的な取組



以下 令和6年度の学校経営重点11項目です。

1 社会に参画する意識を向上する地域のひと・もの・ことを生かした教育活動の充実

◎「子供ファースト」の視点を大切に、学校運営協議会・学校支援本部・杉サポ・教育委員会等と連携し、「地域で育てる杉二の子」の言葉と共に、「地域の中の学校」の立ち位置を確立していきます。

2 創立140周年に向け杉二小の児童として地域を知り、地域の一員としての自覚と誇りの醸成

◎昔の杉二小生との交流（インタビュー他）杉二小の学区を知る学習活動を展開し、児童の地域に対する誇りを醸成し、地域をより良くしていこうとする当事者意識を高めていきます。

3 「地域で児童を育てる」視点から、子供の思いが活かされる幼保小中連携の交流活動の工夫

◎東田中学校との交流（図書館交流、合唱コンクールリハの見学 授業体験等）、年間十数回以上の近隣の幼稚園、保育園、子供園との交流をより深めていきます。

◎東田小東田中との3校合同の学校運営協議会の開催、幼稚園・保育園・子供園の保護者会の参加等より連携を強固にしていきます。

4 校庭整備のため、地域【野球場・東田中テニスコート・善福寺緑地公園】へ運動の場の拡大

◎校庭整備の期間に応じて、中休みを30分間設定し、多目的室や体育館を利活用していきます。

◎東田中学校テニスコート、善福寺緑地公園野球場、センター広場等を運動の場として活用し、健康保持に努めてきます。

5 他者への想像力を醸成する意図的・計画的な同学年・異学年同士や外部との交流

◎同学年・異学年交流に加え、感謝や励ましの気持ちを伝える交流を通して、お互いを認め合い、高め合える人間関係を構築していきます。

◎青少年赤十字活動による地域清掃活動や募金活動を行い、自己効力感を高め、他者への共感力を育成します。

6 規範意識を高める挨拶・温かい言葉遣いの促進

◎「えがお・あいさつ・あたたかいことば」を合言葉に共生のよさを実感できる児童を育成していきます。

◎代表委員会による挨拶運動を全校児童での役割に拡充し、場に応じた挨拶や自ら進んで挨拶をすることで規範意識を高め、地域の一員としての自覚を高めていきます。

7 組織的ないじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応と児童が楽しいと思える学校生活の確立

◎年間3回の児童の意識・実態調査や問題行動調査・ふれあいアンケートによる実態把握に努め、校内委員会を実施し、いじめや不登校の未然防止に努めていきます。

◎新しく配置された不登校支援員を有効活用し、児童の居場所を確保していきます。

8 児童主体の学習活動の展開と対面とオンライン学習の併用による、誰一人取り残さない学びの保障

◎多様な児童一人一人が自立した学習者として学び続けていけるよう、対面とオンライン学習を併用しながら、児童自ら学習を調整しながら学べる力を育成していきます。

◎年間定期的に全学級においてオンライン授業もしくはオンライン学級活動を実施し児童を自立した学習者として育成していきます。

9 指導の個別化、学習の個性化を進め「個に応じた指導」の充実

◎特別な支援が必要な児童を含めて、すべての児童が楽しく学び合い『わかる・できる』授業を目指していきます。視覚化、焦点化、協同化を意識したユニバーサルデザインの授業を確立していきます。副籍交流も積極的に実施していきます。

10 児童同士の学び合い、多様な他者と協働した探究的な取組

◎兄弟学年及び縦割り活動を学校でのあらゆる場で意図的・計画的に設定し、児童同士がお互いの感性や考え方に触れ、リアルな関係づくりを通し、社会を形成していく上で必要な力を身に付けていきます。

◎「杉二運動の日 140周年行事の日、凶工の日」では児童一人一人が自ら考えたり、思いや考えを表現したり、判断したり行動したりする主体的な活動から「その子らしさ」が発揮できる集団作りを目指します。

11 働き方改革の推進と、学び合える教職員の育成

◎複数担任制（教科担任制 チーム担任制）を実施し、すべての教職員が、全校の児童の担任としてとして成長していきます。

◎H.P（ホームページ）の充実や tetoru（緊急メールシステム）、職員室のフリーアドレス化等により学校DX化を更に充実させていきます。